

2020年1月21日

デジタルデータによる交通広告媒体価値の見える化を推進  
「交通広告メジャメント標準化検討会」をスタート

(株)小田急エージェンシー 西武鉄道(株)  
(株)京王エージェンシー (株)東急エージェンシー  
(株)京急アドエンタープライズ 東京都交通局  
(株)京成エージェンシー 東武鉄道(株)  
相模鉄道(株) (株)メトロアドエージェンシー  
(株)ジェイアール東日本企画

関東地区における交通広告を販売・管理する鉄道事業社ならびにハウスエージェンシーの11社局は、移動者の目線に触れる広告の代表である交通広告の媒体価値向上と、より一層広告主の皆様には選ばれる媒体を目指し、業界としての取り組みの一環として、媒体接触などのデジタルデータのメジャメント標準化に向け「交通広告メジャメント標準化検討会」を設置し、様々な検討を開始いたします。

この検討会では、交通広告の「媒体価値の見える化」を目的に、各種センサーなど様々なツールやデジタルソリューション等を活用することで、媒体接触等に関するオーディエンスデータ等を取得し検証を進めることにより、早期に交通広告におけるメジャメント標準化を確立することを目指して参ります。

なお、本取組では、すでに取組んでいる様々な交通広告効果指標などとの整合性を取りながら推進して参ります。